

第2回館林市子ども・子育て会議 会議録 概要

1 日 時 平成26年2月18日(火) 午前10時～11時20分

2 場 所 市役所5階 研修室

3 出席者

【館林市子ども・子育て会議委員】14名(欠席1名)

渡辺委員、永井委員、大谷委員、角田委員、篠塚委員、多田委員、長柄委員、
鎌田委員、関井委員、小池委員、吉田委員、牛久保委員、柴田委員、寺内委員
(以上名簿順)

【事務局】11名

こども福祉課：伊藤課長、奥澤子育て支援係長、松村保育係長、関口主任、熊田
教育総務課：戸叶総括係長

学校教育課：飯島参事兼課長、広沢学事係長

少子化対策プロジェクトチーム：田口係長代理、武政係長代理、田部井主査

【調査委託業者】2名

株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所：トータルアドバイザー 田中氏、
研究員 竹澤氏

○傍聴者 3名

4 議 題

(1) 子育て支援に関するニーズ調査結果報告(速報値)

ア 就学前児童調査結果

イ 就学児童(小学生)調査結果

(2) 需要量の見込みについて

5 配布資料

会議次第

(資料1) 館林市子育て支援ニーズ調査票【就学前児童用・就学児童(小学生)用】

(資料2) 館林市子育て支援に関するニーズ調査結果報告書(速報値概要)

【就学前児童・就学児童(小学生)】

(資料3) ニーズ量算出の手順概要

(資料4) 子ども子育て事業の見込み量算出方法〔イメージ〕

(資料5) 子ども・子育て支援事業計画策定スケジュール

6 会議内容

(1) 開 会

(2) あいさつ

会 長

(3) 議 事

①子育て支援に関するニーズ調査結果報告（速報値）

ア 就学前児童調査結果

イ 就学児童（小学生）調査結果

調査委託業者より、資料2に基づき説明

【質 疑】

会 長：ニーズ調査の結果速報値について説明がありましたが、何かご質問はございますか。

委 員：就学前児童の調査票 P5 問 14 の定期的に幼稚園や保育園などを「利用していない」と答えた方の理由の内容はわかりますか？

委託業者：本日速報値のため数字が未だでておりませんが、調査票 P6 問 14-5 に「利用していない理由は何ですか」とありますので、こちらの結果は後日取りまとめます。

②需要量の見込みについて

調査委託業者より、資料3・4に基づき説明

【質 疑】

会 長：需要量の見込みの算出方法等について説明がありましたが、何かご質問はございますか。

委 員：今回のニーズ調査は全人口の 2,500 との比率ではありますが、十分信頼のおける資料というのは理解できますが、アンケートだけによって今後の需要量等を決めていくのはいかなものか。アンケートの結果だけでなく、過去5年くらいの保育園・幼稚園の利用状況も考慮し、今後の需要量の見込みを考えていただけたらと思っております。

会 長：利用状況も考慮してほしいというご要望ですが、今後のことで何か事務局はございますか。

事 務 局：委員さんのお話ですが、まさにその通りでございます。現場の状況を把握するため、この会議を設置し各分野の中から皆様方に委員として参加していただいております。アンケートの結果を基に皆様方にご判断していただいたご意見を伺いながら、今後の計画を策定してまいりたいと思っておりますの

で、今後ともよろしく願いいたします。

会 長：調査の対象件数についてですが、全人口に対してこの数でよいのか。統計的にどのくらいの数字があれば精巧な見込みが出てくるのかお分かりでしょうか。

事 務 局：今回の調査は全人口に対しての調査ではなく、お子さんがいる家庭からの抽出調査です。就学前児童 3,869 人の中から 2,000 人、小学生 1～3 年生 2,000 人の中から 500 人ですので、申し添えます。

委託業者：統計調査では、回収が少なくとも 1,000 以上出てくれば標本誤差は統計学上問題のない数字です。今回の就学前児童の回収数は 1,657 件と 1,000 件を大きく上回っており、また、一般的なアンケート回収率は 50%を下回ることが比較的多い中、回収率も 82.9%でございますので、胸を張ってよい数字であり、今回の調査の件数についてはご安心いただければと思います。

会 長：統計的な有効性についてご説明いただき、今回の調査については館林市の子どもを持つ家庭の実態をほぼ反映できると考えてよろしいようです。その他ご質問はございますか。

委 員：保護者の就労状況のパートタイム等の就労時間ですが、業種内容の分けまでは入らないのでしょうか。業種によっては、過酷労働であるから短時間就労であるなどというところまでの区別はないのでしょうか。

委託業者：就労時間については、業務内容までの区別はありませんので、あくまでも時間での把握となります。

会 長：資料 4 の見込み量算出方法 P3 の (5) 利用割合は、国の方で提示されている数字でしょうか。

委託業者：こちらは仮に入れさせていただいている数字でございます。こちらは P1 のステップ 3 潜在家庭類型の事業利用意向で算出するものでございます。

③その他

事 務 局：今回のニーズ調査の就学前児童の回収率が 82.9%ととても高い数字になりましたが、これは保育園・幼稚園での調査票の配布・回収のご協力によるものでございます。この場をお借りしましてお礼を述べさせていただきます。ありがとうございました。

【質 疑】

会 長：他に委員さんから何かございますか。

委 員：就学前児童の調査票 P6 問 14-5 の定期的に幼稚園や保育園などを「利用していない理由は何ですか」とありますが、こちらの結果はどのようになりま

委託業者：本日速報値のみの結果のため、本日お出ししていない結果につきましては、次回までにお示ししたいと思います。

会 長：他にいかがでしょうか。

委 員：先ほどの実態に合った調整をすべきという意見に賛成ですが、待機児童の数字は把握しているのでしょうか。学童クラブにも調査が来ておりましたので、保育園等も行っているのでしょうか。

事 務 局：待機児童につきましては、全国的に厚労省から保育園については今年度も2回程調査が行われております。待機児童の捉え方の違いによって、潜在的待機児童というものが出てきます。館林においても潜在的待機児童はある程度いるであろうと捉えている中で、報告上の待機児童についてはゼロとなります。捉え方の違いによって若干のずれはございますが、入園の調整、待機児童対策をしているところでございます。

委 員：ニーズ量算出の手順概要にありますますが、実態に応じて各自自治体で実際の目標需要量を検討していくというところが、この会議の役割と考えておりますので、この会議の中で議論をし、実態に合った需要量を検討していかなくてはと思っております。

会 長：貴重なご意見ありがとうございました。以上で本日の議事を終了致します。

(4) 事務連絡

事務局より、資料5に基づき今後の会議の予定を説明

※次回第3回子ども・子育て会議を当初3月24日に予定しておりましたが、委員さんからの意見等により、3月26日（水）市役所5階研修室 午後1時30分からに変更いたしました。

(5) 閉 会